

要求実現の力をもつ  
労働組合をめざし  
全国で組織建設と  
拡大をすすめよう!



発行所  
JMITU  
(日本金属製造情報通信労働組合)  
〒114-0023 東京都北区滝野川  
3-3-1 ユニオンコーポ 3階  
電話 (03) 5961-5601~2  
FAX (03) 5961-5603  
※組織外、無断転載禁止

# 支部平均 5,679 円 組合員平均 6,153 円 生活実態無視した低額回答打破へ

## JMITU全国で第1次統一ストに続き、本日(15日)第2次統一スト



15日、通信産業本部の全国ストを皮切りに第二次統一ストへ (15日・NTT持株前)

JMITUは18春闘回答指定日の3月7日以降、第二次交渉日の14日までに新たに19支部分会が回答を引き出し、回答92支部分会の支部平均は5,679円(2.04%)、組合員平均6,153円(2.12%)となっています。支部平均でわずかに566円、組合員平均で396円上回る程度にとどまっています。

東京・田中科学 30,000円(昨年同時期比+21,400円)、長野・前田製作所 12,000円(同+6,500円)、二次回答で1,000円上積み昨年同時期を約4,000円上回る東京・超音波工業 7,584円。また継続雇用者の賃金改善でも栃木日本板硝子で22,500円の賃上げ、愛知・川本製作所での定年後継続雇用者への住宅手当支給など労働者の生活悪化や賃上げへの思いを考慮する経営者の努力が見られる回答もあります。通信産業本部も14日、昨年を400円上回る回答を引き出しました。

しかし全体として労働者の生活実態や生活改善の要求、「大幅賃上げで景気回復を」との世論にも背を向けた不誠実な回答となっています。

これに対しJMITUは回答翌日の8日には第一次統一スト、15日には第二次統一ストを展開。第一次統一ストでは東京の各地協議、埼玉、長野、京滋、大阪など各地で激励団が各職場のストライキをまわるリレースト、決起集会など展開しました。各スト集会では「このレベルでは4月以降の生活がマイナス」「要求実現までがんばる」など決意を固めました。

国民春闘共闘の統一行動日でもある15日の第二次統一ストでは通信産業本部が全国各地の事業所で早朝ストに突入。東京東部、東京西部、大阪などでの半日スト集会・デモ、埼玉、兵庫でリレースト激励行動など、各地でスト・決起集会、夕方の宣伝行動などが展開されます。

# 要求に立ち返り、怒りをもって職場と産別の闘争を強化 職場のとりにくみ強め、組織拡大・強化の力で要求前進を

JMITUは18春闘の初回回答と第一次統一ストを受け9日、東京で18春闘・全国統一闘争推進会議をおこないました。会議には中央執行委員や各本部・地協の役員など30人余が参加しました。

会議では三木委員長があいさつし笠瀬書記長が回答の特徴と闘争強化について提起。昨年と同水準の初回回答をどうみるのかについて、「各企業ともに様子見の回答をしてきているが、我々の側も様子見になってはいないか」との問題提起を踏まえ、①要求に立ち返り、怒りをもって職場のたたかいと産別団交など産別のたたかいにしていくこと、②産別が支部・分会に援助に入りスト・職場集会、ビラづくりなど援助していくこと、「一言メッセージ」や職場要請行動など経営者に迫る職場からのたたかいをつくること、④組織拡大・組織強化の力で要求をかちとることなど、闘争強化を意思統一しました。

現在の回答を見る限り、政府が財界に要請した「3%賃上げ」は、「賃上げは上限でも3%」という「春闘抑え込み」策でしかないことがいよいよ明らかとなりました。JMITUは、労働者の生活をかえりみない超低額回答に対し、怒りをもって職場と産別のたたかいを強化していきます。



東京東部・大東工業支部ストライキ集会 (3月3日)

## 全員の総意「ベースアップ2万円」 西日本のつどい青年前夜祭

3月4日の金属属労働者のつどい西日本集会にさきがけて前日の3日(土)、西日本の青年を中心に青年前夜祭がおこなわれ43人が参加しました。当日は「『3%賃上げ』というけれど、生活改善につながるの?」とのテーマで、全労連全国一般京都地本書記長の山縣さんによる春闘学習会をおこないました。

学習会では、安倍首相が財界に「3%賃上げを」を要請しているが、年収、可処分所得などは大きく落ち込み実質賃金が減少している状況で、僅かな賃上げでは生活改善につながらないこと、また、国際的にみても異常な日本の経済停滞状況について学び、現在と将来の生活を考えたとき、労働組合運動が大切であることを学びました。

グループごとの討議では、職場での不満や不安を交流。「部署ごとで残業に偏りがある」「女性従業員が増えており、女性の働きやすい職場環境作りが必要」「人手不足」「営業職は顧客と製造現場との板挟みでストレス」「残業なしでも生活できる賃金が欲しい」など、生の声を聞くことができました。

賃金については「月々の給料では生活できず、一時金を切り崩し貯金もできない」「趣味、娯楽に費やすお金余裕がない」など低賃金への不満が出されました。交流集会では、全員の総意として「ベースアップ2万円」の要求を掲げることにしました。青年前夜祭の成功を力に、18春闘で大幅賃上げをかちとれるようがんばります。(JMITU全国青年部副部長・山下伸二)

### 9条改憲・「働き方改悪」阻止へ、3・15 第二次統一ストでも決議を上げよう

3月8日の第一波統一スト・統一行動では、安倍政権がねらう憲法9条改憲と「働き方改悪」に反対し職場の運動を強化するために、各地のスト集会で職場決議が上げられ、首相官邸等に送付されました。公文書ねつ造の森友問題で安倍内閣が大揺れです。第二次統一ストでも各ストライキ集会で職場決議を上げ、安倍内閣を追い込み、9条改憲、「働き方改悪」を阻止していきましょう。

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月25日を基本発行日としつつ、闘争時の「情報」、組織建設の経験・教訓なども含め適時発行しています。各支部・分会などひろく発信してください。